

チャレンジすること

【若さの特権は何事にも果敢にチャレンジできること】

さて、英語の勉強をしましょう。ちょっと難しい英文ですが、相対性理論で知られる20世紀の偉大な科学者であるアインシュタインという人の言葉です。

Anyone who has never made a mistake has never tried anything new.

「失敗をしたことのない人間は、何か新しいものに挑戦したことのない人です」というような意味です。逆に言いますと、何か新しいものに挑戦すれば失敗はつきものである、ということです。

人が自分自身を成長させるには、新しいものに挑戦しなければなりません。リオオリンピックの選手の皆さんも、常に新しい技、新しいプレーに挑戦していました。オリンピックの舞台で失敗をしてしまった選手もいました。それは、「チャレンジ」つまり「挑戦」をしたからです。

2学期私は皆さんに期待することは、「チャレンジ」(「挑戦」)です。何もしなければ失敗はしません。でも、成長もしません。自分自身を高めるために挑戦をするのです。挑戦に失敗はつきものなのです。失敗したからといって自分をダメな人間だとか、自分は何もできないなどと思っははいけません。失敗は成長へ至る唯一の道なのです。

しかし残念なことに、世の中には人の失敗を必要以上に咎める人もいます。そのことが失敗を恐れさせる気持ちを作ってしまうことがあります。でも、心配することはありません。チャレンジしている人は失敗した人の気持ちがよく分かっています。本気でやっている人には必ず誰かが力を貸してくれます。

さて、皆さん、この学期はチャレンジ、挑戦する学期にしてほしいと思います。何にチャレンジするかは一人一人違っていいのですが、結局は自分自身に挑戦することになります。そして、失敗することにくよくよすることなく、失敗したらやり直してください。そしてできたらチャレンジしている、挑戦している友達を励ませるような人になってください。